

*Maybe the best hotel
isn't a hotel.*

EXPLORE THE OCEAN STATE OF MIND

新たな洋上の楽園

エクスプローラ ジャーニー

PAVONE

PAVONE 編集部制作（第76号より抜刷）

居心地の良さを追求した「洋上の住まい」

Ocean State of Mind（海とのつながり）を感じ、心身ともに心からのくつろぎを感じるための洋上の住まい。
全室がオーシャンフロントのテラス付スイートでは、落ち着いた内装に加えて、自動のフットライトやベッドサイドの充電パッドなど、快適性を高めるテクノロジーもほどよく配され、心地よい時間を過ごすことができる。



オーシャン レジデンス／オーナーズ レジデンス

バトラーサービスが付く最上級の客室は5つのカテゴリーに分かれ、総面積70㎡から149㎡の広さを誇る。さらに船尾を占める280㎡にも及ぶ特別室、オーナーズ レジデンスもあり、各々が現代的なヨーロッパアンファニチャーや厳選されたアート作品によって、ゲストを感情と感性に響く旅へと誘う。開放的なテラスにはプライベートジャグジーが備わり、海とのつながりをいつでも感じられる設計となっている。



オーシャン ペントハウス

オーシャン スイートのスペックに加え、総面積43～68㎡の客室は、ゆったりとしたリビングエリアや4名用のプライベートダイニングエリアを配置したエレガントな空間が広がる。客室内でのトレーニングが可能なインルームフットネス機器も用意。オーシャンフロントの大きな窓の先には遮るもののない大海原が広がる。



オーシャン スイート

スタンダードタイプの客室にも関わらず、総面積35㎡というゆとりの空間で、専用テラスにはデイベッドやダイニングエリアが備わる。スタイリッシュで落ち着いた色調のインテリアの室内には、ウォークインクローゼットを完備。機能性と快適さが両立する素敵な船旅を叶えてくれる。グランドテラススイートでは、さらにゆとりのある11㎡のテラスで、くつろぎの時間を演出。

新たにオープンする洋上リゾート「エクスプローラⅢ」

待望の「エクスプローラⅢ」がいよいよ、2026年の夏にデビューを飾る予定だ。約9千トンが拡充され、一層充実した設備とゆとりの空間を備えた新たな洋上のリゾートが、その全貌を表す。上級スイートの比率も増え、中でも世界的に高い評価を受ける建築家兼デザイナーのパトリシア・ウルキオラ（Patricia Urquioa）氏との特別なパートナーシップにより実現した極上空間、2室目のオーナーズ レジデンスには注目が集まる。この船は2027年秋に日本への初寄港も予定しているので、期待したい。



お問合せは御近くの販売店まで、または EXPLORAJOURNEYS.COM をご覧ください。



Explora

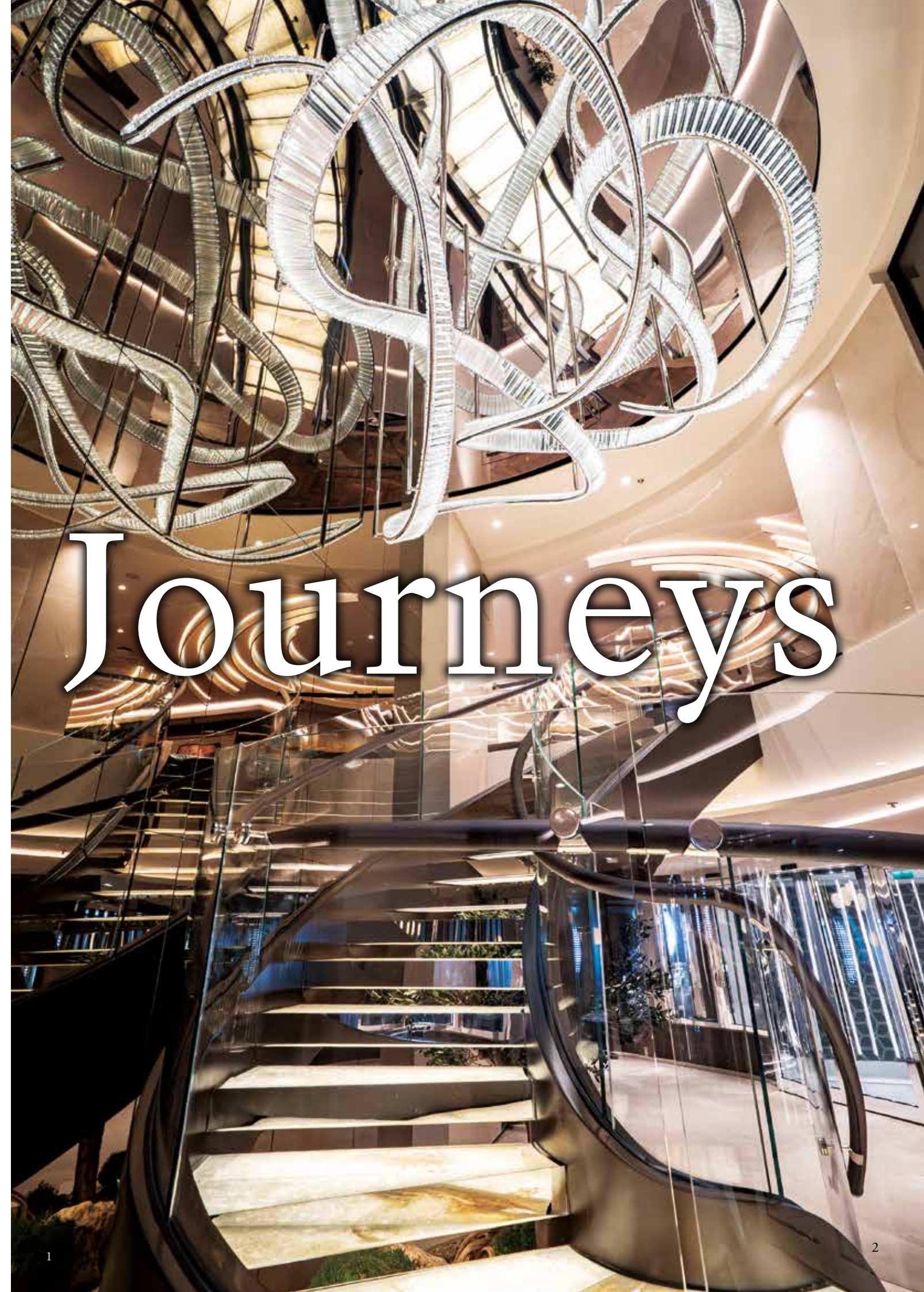
エクスプローラ ジャーニー

海と暮らす至高のプライベートスイート

優雅な船体デザインと環境に配慮した最新テクノロジー。その調和から生まれた新時代のクルーズブランドとして注目を集めている「エクスプローラ ジャーニー」。世界有数のクルーズ企業の MSC グループ創業家の想いを結実させ、最高級のライフスタイル・クルーズブランドとして2023年に誕生。2024年には最新船「エクスプローラII」が華やかに就航した。これまでの豪華客船のイメージを根本から刷新して、真のラグジュアリーを追求した唯一無二のクルーズ＝「エクスプローラ ジャーニー」の魅力をお届けしよう。

写真・文：大橋マサヒロ

1. 「エクスプローラII」を象徴するエレガントな階段。螺旋を描いて輝くシャンデリアが無限の広がりを想像させる。
2. プールサイドからバーに至るまで、船内はまるで洋上に佇むプライベートレジデンスのような心地よさに包まれる。





爽やかな海風と共に心に刻まれる珠玉の航海 洋上のプライベートレジデンスで、極上のひとときを



1. 「アスターンプール&バー」にはバーが併設されていて、グラスを片手に航跡を眺めて優雅に過ごせる。2. 大海原を見下ろせるデッキ10の船尾にある「アトールプール&バー」では静かにリラックスした雰囲気を楽しめる。3. 「ザ コンサバトリー プール&バー」は開閉式の屋根が備わる全天候型のプール。音楽と映像が流れる心地よい空間。4. 船内中央にある「ロビー バー」は吹き抜けで天井が高くスタイリッシュなバー。5. 「ザ スパ」はトリートメントルームの他にもハイドロセラピープールやサウナが備わる充実したウエルネス施設。6. 毎晩様々なショーが開催される「ジャーニーズ ラウンジ」。7. 最上階のデッキには気軽に利用できるジャグジーが用意されている。

ブティックホテルのような特別感とラグジュアリーな雰囲気に抱かれてクルーズを楽しむ——それがエクスプローラ ジャーニー。客室をキャビンではなくスイートと呼ぶのは、洋上のプライベートレジデンスのようにくつろぎながら過ごして欲しいというメッセージ。5カ所のレストランをはじめ、バーやラウンジで提供されるアルコール（一部有料を除く）を含むドリンク、24時間のルームサービス、船内チップに至るまでオールインクルーシブになっていることで、ストレスなく過ごすことができる。さらに、海とのつながりを大切にする同船には、リゾート感あふれる開放的な4つのプールが用意されている。航跡を眺めながら過ごせるインフィニティプール「アスターンプール&バー」では、バーが併設されていて、昼夜を問わず海風を浴びながら、最高に贅沢なひとときを楽しめる。

客室スイートは、全室にテラスが備わるオーシャンフロント。なかでも最上級クラスの「オーナーズレジデンス」は、総面積280㎡の広さを誇る。専属のパトラーが付き、テラスにはプライベート・インフィニティ・プールやジャグジーが完備されている。それは、地中海で過ごすプライベートヨットでのバカンスを思わせる。全く新しい発想で構築されたエクスプローラ ジャーニーは、未体験の極上クルーズライフを約束してくれる。

Explora Journeys エクスプローラ ジャーニー



1. カウンターバーや広々としたリビングルームが優雅な船旅を約束してくれる「オーナーズ レジデンス」。2. 茶室をイメージした席やカウンターが用意された「サクラ」。刺身や握り寿司の他にも、アジア各地の料理を選りすぐりの日本酒と共に堪能できる。3. 4. 洗練された雰囲気が漂うスペシャリティレストラン「アンソロジー」で味わえるのは、最上級キャビアとロブスターにリンゴの酸味が調和した絶妙なひと皿。5. 18のキッチンステーションとライブ感が楽しめる「エンポリウム マーケット プレイス」では、窓越しに景色を眺めながら食事ができる。6. 世界中の銘酒が集う「モルト ウイスキー バー」。その奥には、ゆったりとした時間を楽しめるシガールームが用意されている。7. 2500㎡の開放的な屋外デッキには、プールやジャグジー、フィットネス器具が配され、海を感じながらのオーシャンウエルネスが満喫できる。8. 落ち着いた色合いと上質なネオンが魅力のベッドルーム。9. 世界中の海を巡りながら、我が家のように過ごせる「エクスプローラ ジャーニー」は、違いのわかる旅人から高く評価される最上級のクルーズ客船。



SHIP DATA
エクスプローラ II
 総重量 63,900トン
 客室数 461室
 乗員対乗客比率 1:1.25

Information

エクスプローラ ジャーニー

contact@explorajourneys.com
<https://explorajourneys.com/>

デッキチエアでくつろぐひととき。海を眺めながら心地よく汗を流せるオープンエアのフィットネス。ハーフバスケットコートや、ビリヤード台を備えたラウンジまで揃い、世代を問わず楽しめるウエルネス空間が用意されている。

洗練を極めたデザイン、心地よい居住性、美食、そしてホストによる絶妙な距離感を保つサービス。最上級のライフスタイル・オーシャントラベルブランドとして、クルーズ愛好家を魅了し続けることだろう。



心を解き放つ優雅なクルーズライフ

スタイリッシュな船内空間と美食の世界を満喫

エクスプローラジャーニーが誇る珠玉のダイニング体験をご紹介します。まずは船内唯一の有料レストラン「アンソロジー」。白を基調とした上品で洗練された空間で、総料理長フランク・ガランジェ考案のフルコース料理を堪能できる。その他にも、ディナータイム限定の「メッドヨットクラブ」では、その名の通りヨットをイメージした優雅な雰囲気の中で地中海沿岸の多彩な料理とワインを楽しむ。厳選された素材を使用した日本食やアジア各地の料理が楽しめる「サクラ」は、外国人のゲストにも大人気だ。「エンポリウムマーケットプレイス」は、目の前で仕上げるパスタや豊富なオードブルなど質の高い料理で人気のオールデイダイニング。その時の気分に合わせて選択できる多彩なレストランが揃うことで、美食クルーズを彩ってくれる。

エクスプローラジャーニーは、従来のクルーズの概念を刷新し、新たなラグジュアリーの世界観を創出した新世代のクルーズライン。ゆとりと開放感のある空間美。堅苦しい押し付けのサービスも、時間に追われる窮屈さもここには存在しない。そして、パブリックエリア、バーやレストラン、さらにプールに至るまで、すべてにおいて余裕のある贅沢なスペースで設計されているので混雑とは無縁だ。スパ施設では、サウナで温まった身体を潮風に委ねながら屋外